

請願

ドッグラン設置の請願について



請願趣旨

犬の飼育者が増加している中で、一部の飼育者のマナー違反により公園の出入りが禁止されようとしています。また、公園には犬を嫌う方もおり今後は従来の公園以外に、犬と人間が共生できる戸外の場所、ドッグランの設置が必要です。なお、設置された場合には「しつけ教室」の一環としてドッグラン利用者を主体としたサークルを立ち上げ、マナー向上の為の活動等を展開していきたいと考えています。

これまでの経緯

本請願は、昨年12月議会で継続審査となったもので、閉会中に総務建設常任委員会を開催し、近隣でドッグランを公設している川越市安比奈親水公園ドッグラン、ふじみ野市ドッグラン及び新座市にある民間ドッグランを視察調査した上で、改めて請願の審査を行いました。

採決の結果

「採択すべきもの」と決定

総務建設常任委員会の審査では、ドッグランの必要性、他市との合同設置の可能性、設置方法や経費、管理・運営方法等、議論された結果、「採択すべきもの」と決定しました。

なお、議会においても、3月18日の審議で「採択」となり、この請願は執行機関へ送付しました。

陳情

核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する意見書の決議について (お願い)

陳情趣旨

広島市と長崎市が主宰する平和市長会議では、2020年までの核兵器廃絶を目指す「2020ビジョン（核兵器廃絶のための緊急行動）」を策定し、その具体的な道筋を示す「ヒロシマ・ナガサキ議定書」を発表しています。

現在、この議定書が本年5月のNPT再検討会議において採択されるように、日本政府に対して積極的に働きかけるとともに、世界の加盟都市による賛同署名活動や各国政府への協力を求める要請活動等を通じて、議定書への賛同の輪を広げる取り組みを行っています。

つきましては、貴議会におかれましても、ぜひとも同趣旨の意見書を決議いただき、NPT再検討会議において、日本政府が核兵器廃絶に向け主導的役割を果たすように、国に対し働きかけを行っていただきますようお願い申し上げます。

この陳情を受け、意見書を議決いたしました。

「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書

核兵器廃絶と恒久平和実現のため、2020年までに核兵器を廃絶するための具体的道筋を示した「ヒロシマ・ナガサキ議定書」を、本年開催のNPT再検討会議において、議題として提案していただくとともに、採択に向け各国政府に働きかけていただくよう日本政府に強く要請する。

提出先 衆参議院議長・内閣総理大臣・外務大臣



子ども読書活動を推進するための予算確保を求める意見書

新年度の政府予算では子ども読書活動関連予算は大幅に削減された。子どもの読書は、豊かな心を育むとともに生きる力を養う活動

である。「政官民協力のもと国を挙げてあらゆる努力を重ねる」という国会決議を真に履行し、子ども読書活動推進のための十分な予算の確保を政府に求める。

提出先 内閣総理大臣
文部科学大臣

厚生文教常任委員会

学校給食の改善 子ども達の健全育成のために



当委員会では、学校給食の自校方式について昨年来から調査を実施した結果、自校方式はセンター方式より望ましいという見解に至った。しかし、①老朽化した給食センターの建て替えが急がれ、自校方式で1年に1校ずつ新築していった場合、8年はかかる。②全校に敷地を確保することが難しいと思われる。③建築費用、運営費用は自校

方式の方がコスト高になることが予想される。④当町の財政状況は厳しい。以上の理由によって総合的に判断してセンター方式でやむを得ないのではないかとこの意見が多数を占めたが、建設面積や建築費についての更なる精査の必要性を求める意見もあった。学校給食の改善目的は、子ども達の健全な心身の育成のための食育の更なる推進であり、地産地消、栄養士の充実、配送方法の工夫など、センター方式であっても自校方式の良い部分を最大限に取り入れることによって、自校方式と同等の給食の提供は可能であると考えられる。従って、センター方式採用の場合はこの点を十分に考慮することと、併せて建築費用や厨房等機械、電気設備等の比較についても精査することを執行部側に強く要望するものがある。

子ども手当の全額国庫負担を求める意見書について

平成22年度の「子ども手当」の支給方法は、子ども手当と現行の児童手当を併給させたものであり、財源に地方負担が盛り込まれたのは極めて遺憾である。政府は当初明言していたとおり、23年度以降の本格的制度設計においては、全額国庫負担とすることを強く求めます。

提出先 内閣総理大臣
厚生労働大臣
総務大臣

反討論

子ども手当はバラマキであり、制度として欠陥がある

子ども手当の政策目的は、少子化対策なのか経済支援策なのか不明である

大空

議会改革特別委員会

「議会基本条例」「議員政治倫理条例」制定に向けて

昨年12月に行った住民の皆さんとの第1回「意見交換会」に続き、今年1月第2回竹間沢公民館、第3回藤久保公民館と意見交換会を開き、合計約100名のご参加を得て、貴重な意見をいただきました。特別委員会では、出された意見について慎重に検討が行われ、「議会基本条例」「議員政治倫理条例」の一部条文に盛り込まれました。また、毎回の特別委員会でも、傍聴者から休憩時間を利用してご意見を伺い、その意見を一部取り入れるなど、徹底して住民の皆さんとともに作り上げるという姿勢が貫かれています。紆余曲折を経て、3月25日の第22回議会改革特別委員会では全員の合意に達し、「委員会案」ができあがりました。29日には議会全員協議会に報告されました。そこで出された意見について、委員会ですぐに検討され、一部案文に反映されて、ついに議会としての「原案」がつくられました。昨年の5月に第1回会議を行って以来、特別委員会会議、基本条例作業部会、倫理条例作業部会、公開学習会、意見交換会など委員会の活動回数は45回を数えています。さて、原案を元に、4月6日から5月5日まで1カ月間のパブリックコメントを実施しています。そして、当初の予定どおり議会6月定例会に提案する予定です。住民の皆さんのご意見をお待ちしています。

政治資金規正法の制裁強化を求める意見書

り、5.3兆円の財源手当の見直しもない。将来の子ども達への付け回しとなるバラマキ以外の何ものでもない。所得制限もなく高所得者ほど有利になるなど制度的欠陥があり、制度そのものに反対する。

提出先 衆参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣



政治資金規正法違反で現職国会議員を含む秘書らが逮捕されたことで、国民の政治不信を招いている。「政治とカネ」の問題を

委員会構成の変更がありました

◆議会運営委員会

委員長 菊地 浩二
副委員長 神田 順子

◆議会だより編集委員会

委員長 岩城 桂子
副委員長 菊地 浩二

上記のとおり就任いたしましたのでご報告します。

議会活動日誌

2月

- 1日 議会改革特別委員会
- 2日 厚生文教常任委員会
- 3日 総務建設常任委員会 所管事務調査
熊本県長洲町議会 来庁
- 4日 議会運営委員会
- 5日 議会改革特別委員会
- 10日 正副議長及び事務局長 合同研修会
- 12日 議会改革特別委員会
- 15日 議会改革特別委員会
- 16日 入間郡町村議会 議長会 役員会
- 17日 総務建設常任委員会
- 18日 埼玉県 後期高齢者医療広域連合 議会定例会
- 25日 議会運営委員会
- 25日・26日 議会広報研修会

3月

- 1日 埼玉県 町村議会 議長会定期総会及び自治功
労者表彰式
- 2日～18日 第1回三芳町議会定例会

- 2日 全員協議会
- 4日 全員協議会
議会改革特別委員会
- 9日 全員協議会
総務建設常任委員会
厚生文教常任委員会
- 12日 入間東部地区消防組合議会 運営委員会
- 18日 議会運営委員会
議会改革特別委員会
- 19日 入間東部地区衛生組合議会 運営委員会
入間東部地区消防組合議会 第1回定例会
- 23日 議会だより編集委員会
- 25日 議会改革特別委員会
入間東部地区衛生組合議会 第1回定例会
- 26日 議会改革特別委員会 合同作業部会
- 29日 全員協議会

4月

- 16日 議会改革特別委員会
- 25日 議会報告会

次の議会定例会は

6月1日(火)

開会の予定です。

皆様の傍聴を
お待ちしております。

表彰

全国町村議会議長会より、先進的な取り組みをしている議会に贈られる町村議会表彰として、当町議会が表彰を受けました。

また、埼玉県町村議会議長会より自治功労者として、議会議長3年以上 秋坂豊議員、議会議員15年以上 吉村美津子議員、議会議員25年以上 板垣清議員がそれぞれ表彰されました。

編集後記

今年は、春の嵐が吹き荒れる幕開けとなりましたが、平成22年度予算も、昨年に引き続き歳入が減る中、生活に直結するものを一部削減した厳しいものとなりました。

三芳町議会の議会改革は傍聴しやすくと夜間・休日議会開催等から始まり、昨年6月からは、『議会基本条例』『議員政治倫理条例』を、住民の皆様のご意見をいただきながら原案にまとめ、パブリックコメント後、6月定例会にて制定予定です。

また、議会全体が活性化し、常任委員会の先進地視察が、現状把握と併せた実際の提言になってきました。

議会だより編集委員会も、住民が読みたくなる紙面をめざし、議会が担っていることを理解しやすく、また議員ごとの審議に対する賛否を載せるなど、紙面を変えてきました。

ぜひご意見やご要望、ご感想をお寄せいただきたく、よろしくお願いたします。

議会だより編集委員会
編集委員 神田

- 委員長 岩城 桂子
- 副委員長 菊地 浩二
- 委員 神田 順子
- 委員 高橋 忠一
- 委員 高光 重之
- 議長 秋坂 豊